

ガラスドーム

酒井恵三

満面を非常な硝子で包んだ

金沢駅のガラスドーム

ああ、このドームは鋼鉄の鎧に

仕切られた西洋の騎士のように

他を圧倒しながらも屹立している――

プリズムのように様々な光に

彩られ、きらめくガラスドーム

雨の日は暗く煙りながらも

群衆を優しく包み込むガラスドーム

その武骨な表情とは裏腹に

私のように、毎日通り過ぎる者に

母親の胎内に戻るかのような

束の間の和らぎを与えるガラスドーム

大雪の日は自然に対する

人間側の防波堤だったガラスドーム

敵の中に一目散に切り込む

勇敢な騎士のように

北陸の厳しい冬に対し

一矢を報いたガラスドーム

屋根に降り積もった雪はやがて

陽の光に照り返され、異様なまでの

明るさで構内を満たす

人々に束の間の春を届けたガラスドーム――

夜は周りのネオンを反射し

夜光虫のように妖しく光るガラスドーム

春の夜の日本海の蛍烏賊のように

ガラスドームの中だけは

美しく輝いている

今日も人々の頭上にあつて風雪に耐え

晴れた日の陽光と星空の瞬き

自然からの素敵なプレゼントだけを

ガラスドームは伝えてくれる